

乙第 22 号証 (4枚)

【奥村昇次議員に関する備忘録】

※ 会派役職名については、全て当時のものとします

① 議会報について

・令和4年12月27日、伊藤杏奈議会報編集委員長（市民クラブ所属）から、当会派（自由クラブ）に対して奥村議員文責の「一般質問」の原稿について、相談があった。

・委員長と奥村議員の間のやりとりでは埒が明かないとのことだったので、調整をお願いしますとの申し出だった。

・議会報編集の期限が迫る中での相談だった。

・翌28日（春日井市役所の仕事納めの日）、私（政調会長）と奥村議員が議会応接室の一室で面談を行い、原稿の修正を要請し本人が了解したので、速やかに対応するよう伝えた。

・その後、自由クラブ会派の控え室で奥村議員が原稿修正の作業を始めた（自身のパソコンで作業を始めたので、画面確認はしていないが、修正作業を開始したと思います）。

・その際に、友松団長から奥村議員に対して、「委員長に対してだけでなく会派に対しても迷惑をかけているので、一言くらいお詫びのことばがあっても良

いのではないか。」と指摘したところ、謝罪のことばを述べられたが誠意を感じるような態度ではなかった。

・当時、会派控え室には若干名の所属議員がおり、現場でやりとりを見聞きしていました。

② 会派の退団・除名の経緯について

上記のやりとりを受けて、奥村議員に対して厳しい処分をするべきとの意見が出た。

・その前提として、過去に会派所属の議員として不適切な行動が複数回あったため、昨年秋ごろに長繩総務会長と私とから、奥村議員に対して注意をした上で、「次に問題行動があった場合には、団から出ていただく」旨を伝えてあった。

・本年1月4日（春日井市新年名刺交換会終了後）、会派の全員会を会派控え室で開催し、諸報告をした後、一旦休会し役員会を別室にて行った。役員以外のメンバーは、控え室にて待機して頂いた。

・控え室の別室にて役員（三役である団長・総務会長・政調会長）会を行い、協議の結果奥村議員に対して、除名もしくは自主的な退団のいずれかを本人に選択させることに決定した。

が会派の見解です。

・奥村議員の過去で会派が問題行動とした件は、

→ 高蔵寺駅北口の再開発計画に関して、行政当局に会派の立場を利用した物言いをしており、政治的な「圧力」を与えたと受け止められたこと

→ 同上の件で、議員個人の会報文書の中で、市民意見公募を行っている当局の取り組みを利用して、反対意見を促すような内容を記載したこと

→ 上記に関しては、副市長から「内々」の相談があつて明らかになった内容であり、こうした副市長からの「相談」があつたことそのものが問題

・令和5年1月4日 春日井市新年名刺交換会の開会前に、伊藤太前市長が上記の件で奥村議員を非難叱責していたこと（議会では賛成行動をしていながら議員個人の政治行動が反対のスタンスであることが、前市長としては許せなかつたか？前市長は会派の先輩でもあり、市長与党であるので）

令和5年2月15日

春日井市議会議員

加納

